

胚移植について

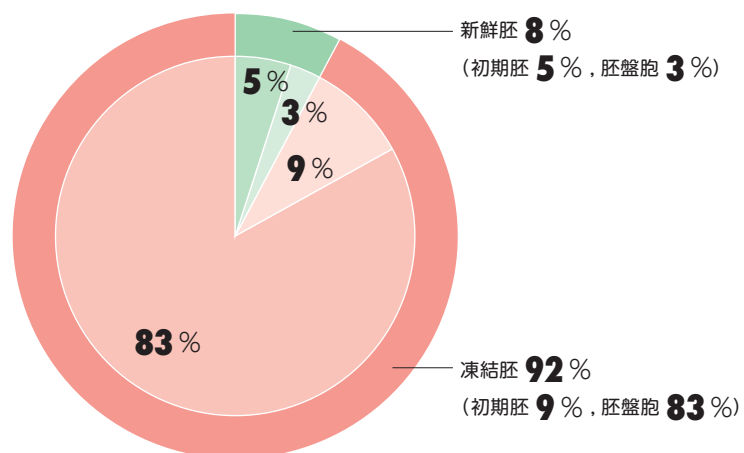
胚移植は、夫婦にとっては不妊治療施設に預けていた自分たちの卵が戻り、着床して赤ちゃんになってくれるかどうかの期待や不安でいっぱいになる時です。

移植にあたっては、先行して胚の評価が医師から患者さんに伝えられ、通常であればグレードの高いものから移植されるでしょう。Stage06では、治療施設における移植胚の種類別割合と移植胚の種類、黄体管理の方法、移植胚の選択法とどこまでのグレードの胚を戻すのかを確認しました。

胚移植は、昨今の治療の流れからも胚盤胞の凍結融解胚移植が多いのは前述していますが、昨年と比較して今年の調査では何か変化があったのでしょうか。

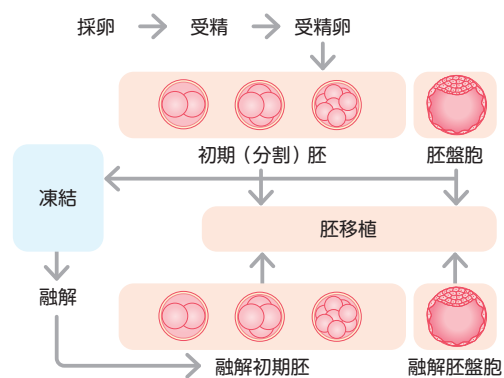
Stage 06-1

胚移植の種類別割合



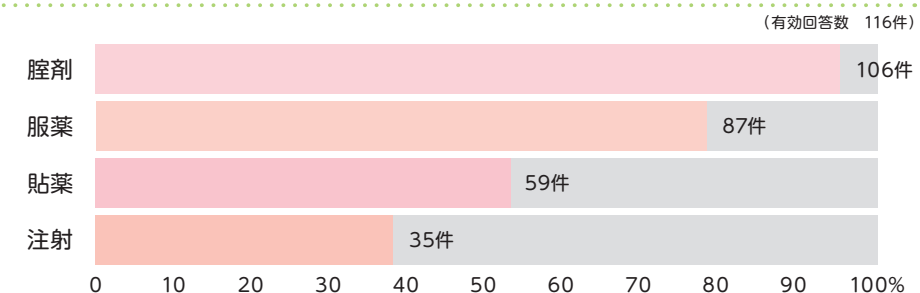
胚移植の件数は、平均で1治療施設あたり690件でした。

移植胚には、新鮮胚と凍結胚があり、それぞれ初期胚（分割胚）と胚盤胞があります。それぞれの件数が占める割合は、新鮮胚と凍結胚が8%と92%で、新鮮胚の8%の中で初期胚と胚盤胞が5%と3%、凍結胚の92%の中で初期胚と胚盤胞が9%と83%でした。



Stage 06-2

黄体管理の方法

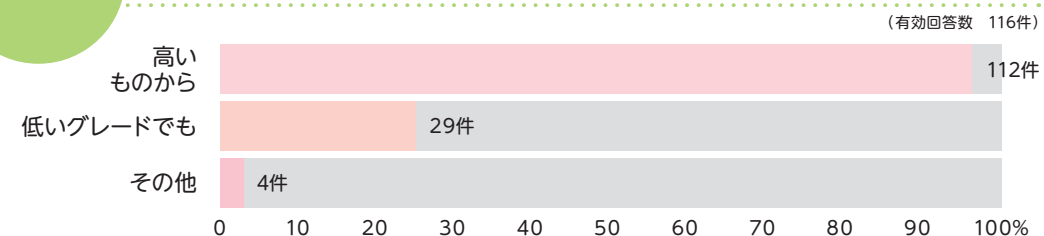


移植後は着床に向け、子宮内膜が妊娠しやすい環境になるよう黄体ホルモンで厚くします。女性の月経周期の中でも準備されますが、治療周期においては黄体管理のためにホルモン補充をします。その場合の薬剤について、腔剤、服薬、貼付薬、注射で実施状況を調べました。

結果は、回答中、腔剤が95%（106件）、服薬が78%（87件）、貼付薬が53%（59件）、注射が32%（35件）でした。

Stage 06-3

移植胚の選択について



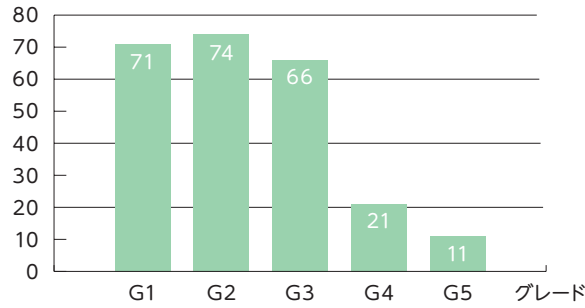
移植胚の選択では、回答中97%（112施設）で、グレードの高いものとしていました。年齢や患者さん個々によって採卵数は異なり、少なければ数個となります。一般的にはグレードの高いものから移植しますが、移植時の胚の数などによっては低いグレードのものでも移植することもあるでしょう。今回の回答では25%にあたる施設で、低いグレードでも移植するとの回答がありました。

低いグレードでも妊娠するケースがあることからの移植ですが、判断によっては妊娠には適していないであろうグレードの胚もあります。どこまでのグレード胚を戻すか、その判断が気になるところです。次で見てください。

Stage
06-4

保険診療で移植を行う場合、どこまでのグレードの胚を対象としていますか？

初期胚



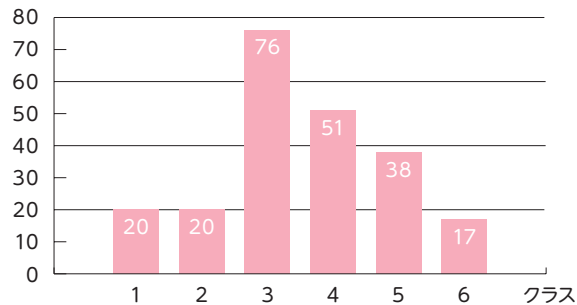
胚盤胞の評価に寄せられたコメントには、CCを対象外とする。ICMとTEのどちらかにCがあっても、もう片方がAであれば対象とする。という回答が多かったです。また、移植対象胚が少なかった場合は、Cを含む胚を凍結する施設もありました。

初期胚とは8細胞期程度までの胚をいいます。正常な成長スピードの胚であれば2日目には4細胞、3日目には8細胞になります。その後16細胞、桑実胚となり胚盤胞に成長します。

初期胚では、G1～G5までの分類をします。G1は形態が均等でフラグメントがないものをいい、G2は形態が均等でフラグメントが僅かにあるもの、G3は形態が不均等で少量のフラグメントのもの、G4は形態が均等または不均等でかなりのフラグメントがあるもの、G5は細胞をほとんど認めずほぼフラグメントのものをいいます。

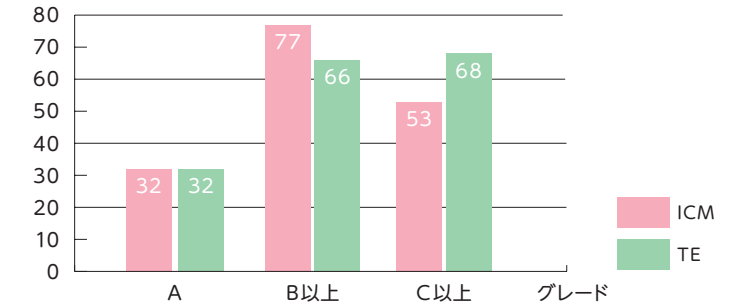
回答では、G1～G3までとする治療施設が多いものの、G4、G5を戻すケースが確認できました。平均はG3以上でした。

胚盤胞（クラス・成長スピード）



胚盤胞は成長スピードでのクラス分け（数字）と胚盤胞を構成する細胞別ABの分類で評価をします。クラスでは1初期（胞胚腔が胚の半分未満）、2胚盤胞（胞胚腔が胚の半分を超える）、3完全（胞胚腔が胚全体に達する）、4拡張（胞胚腔が広がり、透明帯（胚の外側を包む膜）が薄くなる）、5孵化中（胚盤胞の一部が透明体から出始める）、6孵化後（胚盤胞が透明体から完全に出る）に分類されます。平均がクラス3以上でした。

胚盤胞（ICM・TE / 内細胞塊・栄養外胚葉のランク）



胚盤胞のICM/TEは、胚盤胞にある将来胎児になる内細胞塊・ICMと将来胎盤になる栄養外胚葉・TEで評価がそれぞれABCの3段階で示されます。Aは密で細胞数が多く、Bはまばらで細胞数が少ない、Cは細胞数が非常に少ない状態です。

ICM/TEがA以上ならどちらもAAということです。結果グラフでは、A以上、B以上、C以上、それぞれの評価判断がされていることがわかります。A以上とするよりもB、C以上とする施設が多いことがわかります。

※フラグメントとは、細胞分裂の際に発生する細胞の欠片のようなもので、増えすぎるとその後の細胞分裂の邪魔になり良好な胚発生ができない可能性があると考えられています。

